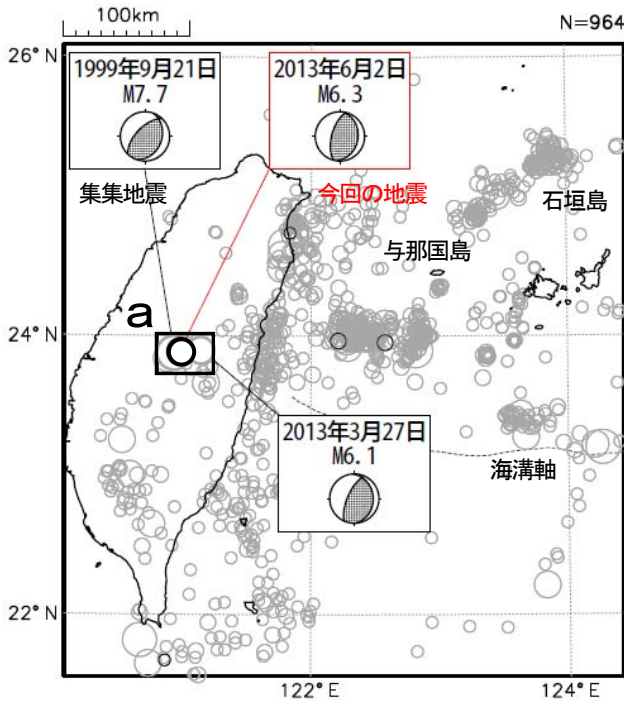


6月2日 台湾付近の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2013年6月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)
2013年6月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

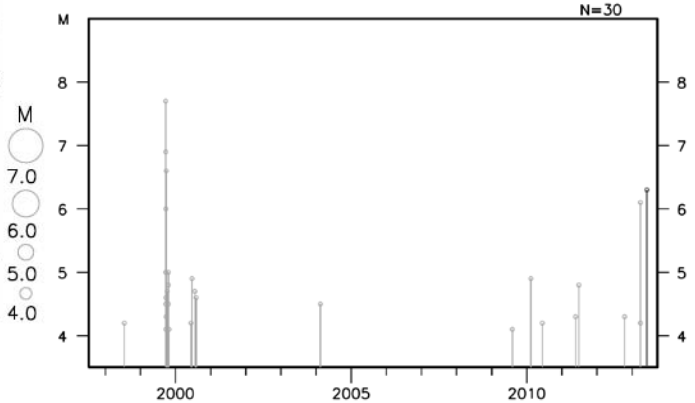


2013年6月2日14時43分に台湾付近（台湾中部）でM6.3の地震が発生した。この地震により、日本国内で最大震度1を観測した。

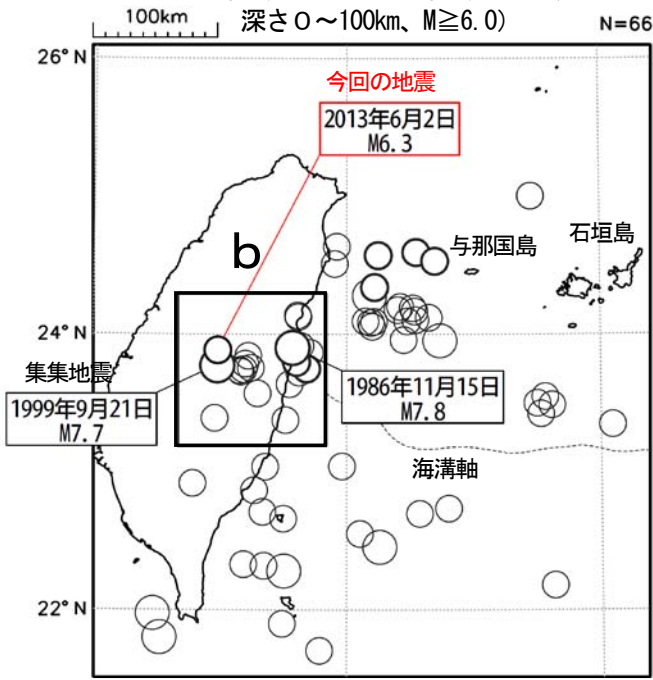
この地震の発震機構（CMT解）は、西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。この地震により、死者4人、負傷者21人、建物被害90棟の被害が生じた（被害は米国地質調査所[USGS]による）。

1997年10月以降の活動を見ると、この地震の震央付近（領域a）では、1999年9月21日にM7.7の集集地震（日本国内で最大震度2）が発生している。また、2013年3月27日には、M6.1の地震（日本国内で震度1以上の観測なし）が発生している。

領域a内のM-T図



震央分布図
(1970年1月1日～2013年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



今回の地震の震源要素は気象庁による。
その他の震源要素は米国地質調査所（USGS）による。

1970年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、1986年11月15日にM7.8の地震（日本国内で最大震度3）が発生し、台湾で死者13人、負傷者45人の被害が生じ、宮古島平良で30cmの津波を観測した。また、1999年9月21日に発生したM7.7の集集地震では、台湾で死者2,413人、負傷者8,700人の被害が生じた（マグニチュードは米国地質調査所[USGS]による。被害は「宇津の世界被害地震の表」による）。

領域b内のM-T図

